

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

職員数 6

事業所名 放課後等デイサービスめばえコスモス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	室内が過密にならない様に分けて使用している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		人員基準を満たしてはいるが、更に手厚い支援を考え職員の増員は常に行う予定。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	6		玄関前階段に手すりが付いているが、賃貸物件(貸家)の為バリアフリー化の配慮とまでは言えない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	毎朝の朝礼で伝え、週1と月1のミーティングで話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	アンケート調査の結果で保護者の意向等を把握し改善している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価については、本社に相談し指示を待っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	オンライン研修や外部研修も積極的に実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	児童と保護者、両方のニーズや今後の課題を何度も話し合っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	6		4月からの新入生に向けて、アセスメントツールを検討中である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	チームで話し合いをし最適な活動プログラムを決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	児童の成長に合わせて工夫し変化させている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		どうしても長期休暇に関してはマンネリ化する事があるので課題を細かく決めて取り組みたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	子どもの状況に応じて適切な組み合わせを心掛けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼で当日の打ち合わせ、夕方に翌日の打ち合わせを実施。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	報連相も含め、良い点や反省事項などを話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援の記録は毎日必ず記入し共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	モニタリングを実施し、保護者と話し合いながらサービス計画の見直しを判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		もう一度、ガイドラインを精読し複数の組み合わせがそれぞれに、きちんと出来ているか確認したい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児発管に加え、その児童の状況に最も詳しい職員の意見と参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1	基本的には保護者との連絡になるが、担任の先生に再確認したり齟齬がない様に努力している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	未回答	未回答		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	未回答	未回答		今後は互いに協力し情報共有と相互理解に務めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	未回答	未回答		これから卒業する児童に関しては情報提供等をしたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6		今まで以上に専門機関と連携し、助言や研修を受けたいと考えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		交流の機会を持ちたいとは思っているが日程調整が難しい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	0	西サポネットに参画、その他の研修にも積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	保護者と頻繁に連絡を取り合い子どもの状況について相互理解を深めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	週1のペースでペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	施設見学や契約時に時間を取り丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	保護者からの相談を受け迅速な対応を常に心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	未回答	未回答		感染症対策が続き、今までの行事関係が未実施のままである。もう少し落ち着いてから検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情に関しても、即日解決出来る様に適切な対応をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	行事予定、連絡メール、ブログで最新情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報特定出来るものは全て鍵付き書庫で保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	それぞれに合う手段で情報伝達の為の配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	未回答	未回答		職員と地域の方との交流はあるが、児童がまだできていない。事業所単位で良いので検討していきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	災害別のマニュアル作成をし保護者と職員に渡している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年2回以上の避難訓練と防災センターでの体験を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止に関連する研修を開催している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	該当する児童はいないが、きちんと身体拘束に関して説明を行い同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		重度のアレルギーの児童はいないが、軽度のアレルギーの児童に関しては情報共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	事例集を作成し職員全員で共有している。	